

環境に配慮した製鉄工場建設支援により、バングラデシュの持続可能な経済成長に貢献

〈事業概要〉

本事業は、低品質な屑鉄を熔解して鉄の再生産を可能とする誘導炉及び圧延加工設備、及び太陽光発電設備や大気汚染物質管理システム、水処理・再利用プラントの整備のために、バングラデシュの大手製鉄企業であるBSRM Steels Ltd（BSRMSL）へ融資することにより、バングラデシュ国内の環境に配慮した製鉄能力の拡大を図り、もって同国の持続可能な経済成長に寄与するもの。

〈本事業のポイント〉

1. 製鉄業振興により経済成長・貿易収支改善に貢献

バングラデシュにおける地下鉄や空港、港湾等の大規模インフラ整備や商業施設建設の増加に伴い、鉄鋼需要は今後、年率15-20%で成長する見込み。また、一部の鉄鋼製品は輸入に依存しており、経済成長に伴う輸入の増加は同国の貿易収支に負の影響をもたらす懸念がある。本事業ではBSRMSLの製鉄工場建設への融資によって、鉄鋼製品の国内生産の増加を通じた経済成長・インフラ整備加速化と貿易収支の赤字削減・外貨準備高の安定に貢献。

2. 製鉄業における環境配慮・温室効果ガス排出削減の推進

従来より製鉄工場からの環境汚染物質や温室効果ガスの排出は大きな課題であるため、本事業では太陽光発電設備や大気汚染物質管理システム、水処理・再利用プラントを導入することを通じて、バングラデシュの製鉄業における環境配慮・温室効果ガス排出削減の取り組みを推進。

